

(法第10条第1項第5号)

## 設 立 趣 旨 書

平成25年 6月 27日

特定非営利活動法人光と風

### 1 設立の趣旨

旭市は東日本大震災において地震・津波による甚大な被害を受けた。市民まちづくり活動事業団体「光と風キャンペーン実行委員会」は旧飯岡町の観光資源の発掘とその情報発信が本来の目的であったが、「津波写真展で活動を再開したことは、我々の体験を後世へ語り継げとの天命だ」と感じて今日まで活動を続けてきている。

被災者の聞き取り調査から「語り継ぐ会」や「復興かわら版」が生まれた。震災の年に始めた防災教室ツアーの参加者は延べ数千人を下らない。3・11「いいおか津波を語り継ぐ集い」では「忘れじの時計」が自立し、「語り継ぐいいおか津波」は旭市の防災教育の副読本としての採択を受けた。さらに「復興観光まちづくりコンペ」の主催、お土産品の開発など、いずれも多く善意で支えられてきた。今後の活動を持続していくために、光と風キャンペーン実行委員会を発展的に解散して、そのすべての財産を継承するものとして「特定非営利活動法人光と風」を設立させることを決心した。

その目的は、被災者聞き取り調査記録集「語り継ぐいいおか津波」の考えのもと、旭市及び隣接地域の復興観光まちづくりの推進へ寄与することに置く。復興まちづくり並びに観光の復興と振興、地域安全に資する活動を行い、そのために東日本大震災のメモリアルとその教訓を活かした防災教育、旭市地域における円卓会議の運営その他の事業を、誠意を以て実施することをここに誓うものである。

### 2 申請に至るまでの経緯

平成12年3月10日 ボランティア団体「光と風キャンペーン実行委員会」設立  
平成21年4月01日 旭市市民まちづくり活動事業団体として認定  
平成23年3月12日 東日本大震災を後世に伝える活動を開始  
平成24年4月01日 特定非営利活動法人格取得を団体活動目標に追加  
平成25年3月11日 法人格取得のための検討準備会を開催（以後、計4回）  
平成25年4月27日 法人格取得のための勉強会を開催  
平成25年5月01日 発起人会兼総会準備会議を開催（以後、計3回）  
平成25年6月27日 設立総会開催